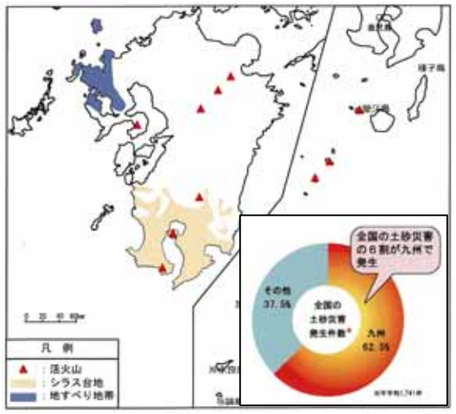
生活の安全と豊かな環境を目指す検討小委員会における検討状況等について

資料1－2

■九州圏を取巻く状況について

■傾斜地や火山が多く特殊土壌地帯が分布
■気候変動による海面上昇や集中豪雨の不安定化
■甚大な水害や土砂災害等の被害が多発する傾向



平成15年 御笠川氾濫（福岡県）

平成18年 川内川被災（鹿児島県）

■九州圏の状況について

■温暖（平均気温20℃）な気候
■世界有数の阿蘇カルデラ、世界遺産の屋久島など豊かで美しい自然
■豊富な植生の自然公園が圏土全体に広がる

大分県（玖珠町）の棚田

屋久島の縄文杉

■生活の安全と豊かな環境における基本的整理

検討の視点

①減災の視点を重視した災害対策の推進：
九州圏は、わが国の中でも特に災害の多い地域であることに鑑み、災害が発生した場合にも被害を最小限に抑える減災の視点
②自然環境の継承と社会活動とが一体化した圏土構造の形成：
九州圏の豊かな自然環境を継承するため、自然環境だけでなく人を取巻く社会活動を含めた環境、共生を図る視点
③九州圏の多様な主体による形成：
多様なライフスタイルを実現するため、多様な主体の参加、参画による個性と魅力ある九州圏の形成を目指す視点

議論の進め方

情勢の転換、新しい価値への対応（第２回議論）
- 災害の要因となる自然外力から守る「防災」から災害が発生した場合にも被害を最小限に　抑える「減災」の視点に関する議論
- 豊かな水資源、自然環境、景観等への関心の高まりへの対応に関する議論

九州圏特有の課題への対応（第３回議論）
- 中山間地域、離島半島の高い割合や東アジアと地理的隣接性等の特性を踏まえた課題への対応に関する議論

残りの論点（第４回議論）
- 広域的な連携や機能補完体制による安全・安心な圏域の形成に関する議論
- ニーズに応じた食の安全・安心や食料の安定供給の必要性に関する議論
- 健全な国土利用と水循環系の構築に関する議論

９つの論点

- 論点１　近年の気象変動等に備えたハード対策の推進
- 論点２　減災の観点を重視したソフト対策の推進
- 論点３　安全・安心を確保する九州圏の圏土構造の形成
- 論点４　中山間地域、離島等におけるサービスの確保
- 論点５　安全・安心な食を支える九州圏の継承
- 論点６　多様で美しい調和のとれた九州圏の保全と継承
- 論点７　国際的な環境問題への取り組み
- 論点８　流域圏における健全な国土利用と水循環系の構築
- 論点９　海洋・沿岸域圏の総合的な利用と保全

■ゲストスピーカーからの提言

「資源循環に基づく暮らしの再設計と自立圏域の設定」
島根県中山間地域研究センター
主任研究員　笠松　浩樹　氏

・消費社会の終焉
→持続可能な社会システムの構築
→自給圏域を目指す
・中山間地域における発想転換
→資源を有効に活用する条件整備
→都市住民や企業のチャレンジ

主な議論の内容

□離島・中山間地域等の救急医療体制の強化
- 救急医療は患者を運ぶか医師を供給するしかなく、そのための道路整備やヘリコプター運航等による体制強化が必要

□少子高齢化社会における災害対策
- **コミュニティ衰退への対応は、災害弱者や建物の危険性の事前把握が重要**
- **地域防災を次世代につなげていくには、若年層の担い手育成が必要不可欠**

□減災に向けた情報の重要性
- **行政における正確な情報収集、適切な提供が第一**

□迅速な地域復興の観点からの取組み
- 災害復興の期間こそ様々な情報が必要なので、情報提供を含めた復興のシステムを整備すべき
- **防災・減災だけでなく、被災施設の復旧や流木の撤去等の事後処理も重要**

□効率的な物質循環系の構築
- **森林保全にはバイオマス利用等の有効利用を検討すべき**

□　環境、安全等に対する意識の二極化
- **環境、安全に対して極端に意識が高いか無関心かの二極化が進み問題**
- **災害を発生させない開発レベルや森林等の保全が必要**

□　地域における環境への取組み
- 国際的な環境問題への取組みの基本は、地域における小さな取組み。小さな活動が大きな活動へと広がっていく。

これまでの議論で見えてくる将来イメージ

□コミュニティが再生し、地域防災を担う人材が継続的に確保された安全・安心な地域の形成

地縁型コミュニティの再生
防災・減災、災害復旧、地域づくり等における地域の担い手の育成（世代交代）

行政の責務としての防災情報の的確な把握・提供、災害弱者への対応

□行政が、防災情報の的確な提供や災害弱者への対応等のセーフティネットを担い安全・安心できる地域を形成

□適切な救急医療を受けることができる広域的な補完・連携体制

□地域社会を営む上で必要な活動や防災対策と環境が両立したバランスの取れた循環型社会の形成

災害による倒木の再利用、３Ｒ等
資源循環の推進

地域づくり参加による担い手育成等
魅力ある文化･伝統･誇りの継承

実践教育による地域への関心強化等
安全･環境等への意識のバランス

災害を起こさない開発、森林保全等
自然と調和した開発、自然の保全